

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
武庫川女子大学看護学部看護学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って127単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づき教育目標に沿って次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（看護学）の学位を授与します。			武庫川女子大学看護学部看護学科では、本学科の定めるディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。			武庫川女子大学看護学部看護学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受け入れます。		
武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目			MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目			武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	看護の対象者の生活を理解するための幅広い教養や基礎知識を修得している。	1. 「共通教育科目」 ・人の生活や生命、それを取り巻く社会や文化・環境といった幅広い教養を学び視野を広げる科目 ・看護を行う上で必要不可欠な科学的な思考、論理的な思考力、コミュニケーション能力を身につける科目 ・女性として社会人としてキャリアを積み上げていくために必要な基本的態度を身につける科目	知識	社会を理解し、看護学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。	
	2	“生きること”につながる専門性	2-1	生活者としての看護の対象者を支援するために必要な専門的知識を修得している。			・人の身体を理解し、健康や病気、障害に関する観察力や判断力を養うとともに、看護を行うときの根拠や必要性を考えることができる科目 ・人の健康や障害の状態に応じて活用できる保健医療福祉サービスを理解するための科目 ・看護を学ぶ基礎として、保健医療の関連情報の分析や国際的な視野で情報を得るための情報活用技術や英語力を身につけるための科目	論理的思考力を身に付けるために必要な読解力および知識を活用する力を有している。
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3-1	自らの価値観に向き合いながら、看護の対象者の価値観を尊重し、生命の尊厳と人権尊重を基盤とした倫理観を有している。	3. 「専門教育科目」 ・高度先進医療から在宅医療に至るまでの治療の目的を理解する科目 ・生活者としての人を支えるために必要となる知識を学修する科目 ・人の価値観を尊重したコミュニケーション能力を学修する科目 ・生命の尊厳と人権尊重を基盤とした倫理観を養う科目 ・援助に必要な看護技術を学修する科目 ・必要な看護実践を計画し、多職種間連携を理解し、看護実践能力を育成する科目	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。	
			3-2	自らの価値観に向き合いながら、看護の対象者の価値観を尊重したコミュニケーション能力を身につけている。			看護の実践家として社会に貢献する意欲を有している。	
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4-1	今後の社会の変化を予測しながら、プロフェッショナルな看護師として社会に貢献する意欲を持っている。			教育課程全般を通じて、講義・演習・実習といった授業形態により、看護学の知識・技術・態度の要素を統合的に養います。 各専門科目それぞれで、対象者の人権尊重などの倫理的な視点および行政・施策に関する内容が含まれます。	
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	4-2	看護師として、試行錯誤しながら、生涯にわたって自分を高めていこうとする意思・意欲を持っている。	また、教育課程については、統合看護学実習と修了年次に提出する卒業論文、卒業論文の研究発表・討議をもって、教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。	
	6	論理的に考え伝える力	5	看護を取り巻く様々な課題に柔軟に対応するためのしなやかな姿勢を身につけている			こうした看護学の学習により、本学科が目指すところである援助の対象者を「生活者」と捉え、生活の質（QOL）と治癒の促進を考慮しながら科学的な根拠に基づいた看護を導くための基盤づくりを可能とします。	
行動	6	論理的に考え伝える力	6-1	看護の対象者の生活や健康を支える身体心理社会的要因についての情報を収集し、論理的思考力を用いて分析することができる。	なお、本学科では、所定の授業科目を修得することで、看護師の国家試験受験資格を得ることができます。	行動		
	7	新たな価値を創造する力	6-2	援助が必要な人の状態を明確にして、援助の根拠を説明することができる。				
	8	多様な人々と協働する力	7	看護の対象者に起こりうる事態を予測し、問題解決能力を用いて、最善策を導き出すことができる。				
			8	看護の対象者に関わる人々との連携の必要性を理解し、建設的な関係を築くことができる。				